



2004年度 中間決算説明会

2004年11月10日

大正製薬株式会社

社長 上原 明

目次

- 1 . 2004年度中間期 概況
- 2 . 2004年度通期及び下期の方針
- 3 . セルフメディケーション業界のトピックス
及び当社の中期課題
- 4 . 当社の基本方針

1 . 2004年度中間期 概況

セルフメディケーション事業

- 市場全体は4%減
- 花粉症、風邪関連市場の不調（14%減）
- 台風、災害等がドリンク剤市場に影響
 - ・ 7月猛暑も、8~9月では苦戦（5%減）
 - ・ 当社は微減にとどまる（0.7%減）

1 . 2004年度中間期 概況

医薬事業

- 薬価改定の影響（当社改定率：-3.9%）
 - ・新剤形の上市でカバー（1.3%減）
- 抗菌薬サイクリング療法が徐々に浸透
 - ・富山化学製品が伸長（7.2%増）
- シナジー効果創出対策に着手
 - ・人事処遇の統一を発表
（4月に発表、来年4月より実施）
 - ・評価基準の見直し

2 . 2004年度通期及び下期の方針

セルフメディケーション事業

- － 県別エリアマーケティングの強化
- － 積極的な新製品上市
 - ・ ドリンク剤、特保、風邪薬等
- － 新範囲医薬部外品の展開
- － 女性用リアップ上市の可能性

2 . 2004年度通期及び下期の方針

医薬事業

- 感染症領域で国内2位へ
 - ・ 成功事例の共有（ナレッジマネジメント）
- オリジナル薬剤の継続的開発
 - ・ 臨床開発体制の強化
 - ・ 今期も2～3品が臨床ステージ入り
- 改正薬事法への対応
 - ・ QA（信頼性保証）体制の構築

3 . セルフメディケーション業界の トピックス及び当社の中期課題

2002年11月報告

「一般用医薬品のあり方について」

- － 一般用医薬品の範囲見直し
- － スイッチOTC薬の開発促進及び安全対策の充実
- － 漢方薬、生薬の活用
- － 剤形の拡大

3 . セルフメディケーション業界の トピックス及び当社の中期課題

厚生科学審議会

「医薬品販売制度改正検討部会」

- 4月より開始、委員に就任
- 2005年秋までに一定の結論

機能的食品、特保事業の拡充

- Livitaブランドの育成

4 . 当社の基本方針

優れたハードウェア・ソフトウェアの開発

強いナショナルブランドの育成

- 17ブランドの育成
- 現在8つのトップブランド、5つの2位ブランド

競争に耐えられる低コスト

- 改正薬事法への対応